

平成25年度第1回社会教育委員会議会議録

日 時 平成25年5月24日(金)

13:30~14:15

場 所 市役所9階第1委員会室

出席委員 奥田議長、別紙副議長、小藏委員、佐藤委員、高橋委員、村上委員
計6名

欠席委員 池田委員、小林委員、森山委員、山口委員 計4名

事務局 教育委員会スポーツ生涯学習部：生水部長、木戸次長
生涯学習課：佐々木課長、沢渡主査、木戸主査
中央図書館：瀬能館長、今井副館長、藤原係長

-
- 1 開 会 (進行) 生涯学習課長
 - 2 挨拶
奥田社会教育委員会議議長
生水スポーツ生涯学習部長
 - 3 新任委員自己紹介 佐藤委員
 - 4 議 事 (議事進行) 社会教育委員会議議長

(1) 平成24年度図書館運営の点検及び評価について

<説明>図書館長

平成24年度図書館運営の点検及び評価の結果について、報告資料に基づき説明を行いました。

<質疑>

議 長：ただ今の説明につきましてご意見、ご質問等ございますか。

委 員：評価(1)の図書館資料の充実についてですが、③の郷土資料の収集・保存について自己評価では5という最高のレベルを出しているんですけど、教育委員の評価は4という評価を受けていますがどのような違いからこのように評価されたのか聞きたいなと思います。

図書館長：この項目につきましては、郷土資料、非常に私達市民にとっては貴重な資料でございますけれども、今回こちらについてはあらたにデジタル化というところで行ったところでございますが、私どもとしては非常に斬新的など

いいですか、取組んだ項目でございますが、これについてごく一部というところでございます、その点が若干まだこれから取組めるところとしてその辺で評価が分かれたところです。

委員：教育委員の方々は、私は49才なんですが上の方ばかりですか、それでやはりデジタル化についての認識というのも違うのかな。どうなのでしょう。私はどちらかというところコンピュータ世代なものですから。

図書館長：教育委員さんは、それぞれ年齢層さまざまでございますが、教育委員の皆様にも実際デジタル化の部分もご覧になっていただきまして、そういった意味で、もう少しできるんじゃないかとかのご判断だったのかと思います。

委員：私も昔のビデオテープなどを全部DVDに移行するのもかなり時間がかかったり手間がかかったりすることなんで、やられる図書館の職員の方は大変だったろうと思います。

委員：評価（4）の効率的な運営の③について質問ですが、図書館利用者やボランティア、図書館協議会の意見の反映について自己評価、教育委員評価が共に3になっていますがこれの根拠って何ですか。

図書館長：こちらにつきましても館内にアンケート用紙を置いて利用者の皆様のご意見をお伺いしたり、こういったことは毎年継続して行っていることでございます。ボランティアさんはいろんな部門で携わっていただいているんですけども、この部分は毎年継続して行っているものですから、それを含めて新たに平成24年度実施した部分がなかったものですから、これらについては毎年行っている事業ということで3点と評価しました。

委員：協議会もそうですか。

図書館長：図書館協議会の皆さんも、何回か平成24年度に協議会を開催させていただきました、さまざま意見をいただいております。図書館協議会のそういった集まりにつきましても、毎年継続して行っているということでの3点ということでございます。

委員：だけど今回の協議会ですけども、失礼ですけど毎年継続でないテーマを協議会の皆さんが色々意見を出されていましてけれども、それについてはどういう評価ですか。この評価は昨年度ですから、例年どおりの意見の反映とか取り組みとはちょっと違ったのもありましたよね。

図書館長：確かに昨年度指定管理者制度導入について色々ご意見等伺っておりますけれども、ご意見大変貴重なご意見ですけれども、こちらの③につきましてはあくまでも中央図書館が毎年継続して行っている項目として3点としておりますので、今回たとえば新たに違う視点から、またボランティアさんから意見を求める機会や、市民の方から新たに意見を求める機会を設けたとか、そういった新たな項目、取組がなければ3点以上の評価にはならない項目になっておりますので継続的な事業ということで3点となります。

委員：先程の説明のなかで評価の（5）および（7）の評価につきまして1という評価がありますよね。結局この図書館運営の点検及び評価を何のために行うのかということ次に生かすことが大きな問題だと思うんですよね。その中で1が出されるということで、かなり課題が残っているという、今後そのことについてはある程度は書かれているんですけど、1ということであれば具体化させていく必要があるのではないかと。自分の仕事の中でもそのように感じているんですけども、その辺については今後低い評価のものについてどのようにお考えでしょうか。

図書館長：ただいまご指摘いただいたように、数値的な部分は全国平均と比べると非常に低い数字となっております。市の予算的な部分、職員の配置の部分改善するのは難しい部分でございます。ですので、こういう結果がでましたので、改善については考えなければなりません。蔵書数につきましては平成23年度に利用者アンケートをおこなって、要望の第1位が蔵書の整備でございました。こういった市民要望に答えるためにも、蔵書の整備等を行っていかねばならないと思います。ここで多分市の直営でこのままいくのか、指定管理制度導入でいくのか、そういったところが今後さらに議論いただくところと思います。

委員：自己評価と教育委員評価はだいたい同じで高いんですよね、48館の全国平均に比べた評価は低いんですよね。それでさっきの話とダブるんですけど、新たな図書館利用者も開拓しているが3か4ですし、図書資料の充実についても3か4、図書館利用者へのサービス向上についても3か4がついている。結論として蔵書数及び貸出し数は伸びない。貸出数が伸びないというところがポイントだと思うんですが、そのあたり経費が他と比べて非常に低いということもあります、それとどんな風につなげてお考えになっているのかなと思うんですが。前半の部分と後半の部分の比較の中でやはり経費が足りなくて、蔵書数が少ないことから貸出数が足りないと考えているのか、そのあたりはどんな風に総括されているのかお聞きしたいと思います。

図書館長：今ご指摘いただいたように、市の予算等が厳しくて蔵書の整備ができていない要因もございます。ただそれだけではなく我々図書館のさまざまなPR等と不足している部分もあるのかなど、そういったところを取り組む必要も出てくると思います。現状においては職員数ぎりぎりの状態でやっております。人的な部分をいうのもあれですが、その辺の改善を見込めればさらによりよいサービスを提供していけるのではないかと、予算的な部分になってしまいますけど予算化されればその辺も市民サービス向上に繋がっていくんじゃないかと思えます。

委員：今こういう意見がいいのかわかりませんが、モバイルとかデジタル化で、書籍のデジタル化でかなり書籍自体が格安で購入できたり、それからサービスとしてかなりありますよね。実際に蔵書として図書館におかなくてもネットで全部閲覧できる環境があるなかで、図書館をおとずれて一番感じるのは、それに対応するパソコンとか誰でも学生でもいつでも手軽に触ってみる環境がまだ十分に整っていないと思われる。そういうデジタル化に対する対応って、考えていきますと蔵書管理に関わる職員の数も少なくて済みますし、蔵書をそろえる費用も少なくて済みます。実際にたとえばアマゾンなどにもでてますが、そういう蔵書自体の管理そのものが環境がだんだんそろってくるのかと思われまますので、是非そちらの方も検討されてはいかがかと思えます。

委員：確か武雄市でタブレット型のPCを貸出して、その図書館で閲覧しているという話もあり、色々あそこは話題が。すでにやっている図書館もあります。

図書館長：今ご指摘いただいた、電子書籍ですとかICTに対応できる環境は中央図書館には残念ながらございません。こういった部分も次年度何とかしていきたいなという思いはございます。情報化社会ですのでそういう部分も取り組んで行きたいと思っております。予算的な話をして申訳ありませんけれども、市の直営ではなかなか難しいというところもございましてその辺も含めてご検討いただき、私どもとしてもなんとかやっていきたいと考えております。

委員：私もまだ理解していないところがたくさんあるんですけども、採点の高さ低さからいいますと、基準がわからないですね。ただ評価（4）の効率的な運営で紙芝居をやっていますよね。「苦小牧にも空襲があった」これはただ一度やって評価が3なんですよね、違いますか。4ですね。一度で4というのはすごい、いい点数をもらっているんじゃないかと思ってしまうんですけども。それとやっぱり学校教育との連携とか幼児教育

との交流とか運営への協力について、もっともっと深く広くやっていってほしいという意見です。

委員：「ブックちゃん」については知っているんですけど、何を基準の数字なのか具体的な数字が出ていないんですが。「ブックちゃん」をせっかく23年の10月から実施して学校用の貸出セットが順調に利用となっていますがどのくらいの数字なのか全然わかりません。

図書館長：「ブックちゃん」の貸出の実績でございます。記載をすればよかったんですが口頭で説明をさせていただきます。平成23年度につきましては全体で98件の利用がありました。平成24年度は150件ということで50件ほどの、伸びがございましたので、こちらにつきましても小学校対象にやっておりますけれども、まだまだこちらを利用されていない小学校さんもありますのでPRしてどんどん使っていただきたいと思います。

委員：24年度の点検及び評価についてはわかりましたが、今後の検討材料として特に苫小牧は工業都市でございますので、工業技術文献こういうものはインターネットで閲覧できます。ただほんとにリアルタイムで真新しいものには有料化されています。それを閲覧するのに、学生・高校生ですね、まるまる料金を支払って見ることが難しければ、そこら辺のカバーもいくらか検討されてはいいんじゃないかと。そうすれば小学生中学生だけではなく高校生や高専、あるいは大学の生徒も中央図書館を大いに利用できる環境になればいいのではとそういう風に考えます。

図書館長：今お話ございました、有料データベースの部分でございますけども、まだ私どもの図書館でも導入していない状態ですが、今お話のあった基調な文献とか日経テレコムとか色々な有料データベースがございます。有料サービスの充実ということでこちらもなんとか導入していきたいと考えております。

議長：他になにかございますでしょうか。無ければ議事（2）に移りたいと思います。議事（2）その他について何かありますか。

事務局：特にございません。

議長：それでは無いようですので本日の会議は終了いたします。

5 閉会 14時15分閉会